

事務事業名	スクールバス整備事業		所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	教育総務・給食G	課長名 金森 里志
	施策名	〈26〉学校教育の充実		担当者名	杉原 学	電話番号:0854-40-1071 (内線) 2271
	目的・対象	児童・生徒	意図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。		
	基本事業	〈079〉学校の施設・設備の充実		予算科目	会計: 0:150:0:1 項目: 0:515:0:2	大事業名: スクールバス管理事業 中事業名: スクールバス整備事業
目的・対象	児童・生徒	意図	学習しやすい環境で学ぶ。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
・市内小中学校の児童生徒、幼稚園児 (スクールバス運行対象地区)	・児童生徒等が安心・安全な教育環境で学習できる。 ・校外活動にも活用することで多様な教育機会を確保する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H24 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	老朽化したスクールバス車両を計画的に更新する。 【実施計画】 令和元年度～ 隔年1台/更新 ※令和5年度は海潮中学校の大東中学校統合による令和6年度からのスクールバス運行に伴いスクールバス2台を整備した。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
スクールバス購入(29人乗り)2台 ※令和5年度は海潮中学校の大東中学校統合による令和6年度からのスクールバス運行に伴いスクールバス2台を整備 ①鍋山スクールバス(通常の車両更新) ②海潮スクールバス(大東中統廃合対応)	児童生徒等の安全な通学環境確保のため、スクールバスの計画的な更新を図ってきた。また、小中学校統廃合に伴い、スクールバス路線の見直しに係る車両確保、路線開設等調整を行ってきた。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
ア スクールバス購入台数	台	1	0	2	0
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
備品購入費 18,836千円	財源内訳	国庫支出金	千円	3,750		7,500
その他経費 1,348千円 (自賠責・登録手数料、重量税他)		県支出金	千円			
※国庫支出金(へき地児童生徒援助費補助金)、地方債(過疎債)		地方債	千円	5,100		11,700
計 20,184千円		その他	千円			
		一般財源	千円	327		984
	事業費計	千円	9,177	0	20,184	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	児童生徒が遠距離を安全に通学するための移動手段を確保することができた。 また、学校統廃合に伴う児童生徒の移動手段を適切に確保することができた。
② 事業実施するうえでの課題	スクールバス車両更新のための基準(車両年式、走行距離数等)を定め、計画的な更新を図っていく必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	更新基準については、市民バス等の更新基準を参考に令和6年度中に策定する。